

中国南北朝隋唐陶俑の研究

書籍番号 73432

小林 仁 著

2015年2月 B5 458頁 (上製本)

思文閣出版 ￥13,000(本体)

ISBN 978-4-7842-1790-8

発売 株式会社 北九州中国書店

TEL/FAX 093-921-6570

【内容簡介】

始皇帝の「兵馬俑」で知られる俑は、死者とともに埋葬される副葬明器で、中国の南北朝から隋唐時代は質量ともにその黄金期である。近年各地の葬墓から続々と出土例が報告され、とくに考古学的手法による研究の蓄積が著しい。これに対し本書は、豊富な実物調査に基づいて、膨大な数の資料を造形的特質、様式の変遷、地域性などによって整理し、豊富な図版とともに美術史・陶磁史的視点からさまざまな論点を提示。分裂から統一へとダイナミックに転換する時代のなかで生じた変化と連続性を跡づけ、新たな陶俑研究の確立を目指す。

【目次】



目次

* 予定内容目次 *

序 章

俑について／陶俑研究史序説／本書の目的

第Ⅰ部 南北朝時代の陶俑の様式変遷と地域性

第1章 洛陽北魏陶俑の成立とその展開

洛陽遷都以前の北魏陶俑／洛陽北魏陶俑に関する先行研究／洛陽北魏陶俑の特徴／
洛陽北魏陶俑に関する諸問題／表：洛陽遷都後の北魏陶俑一覧／図版

第2章 北朝鎮墓獸の誕生と展開—胡漢融合文化の一側面

北朝鎮墓獸の草創期／北朝鎮墓獸の展開／図版

第3章 南北朝時代における南北境界地域の陶俑について—「漢水流域様式」試論

対象墓葬分布と歴史背景／各墓葬の概要／陶俑に関する考察／各墓葬の年代をめぐって
／表：漢水流域南北朝墓葬出土陶俑一覧／図版

第4章 南朝陶俑の諸相—湖北地区を中心として

襄陽賈家冲南朝画像?墓出土の陶俑について／武漢地区出土の南朝陶俑／図版

第5章 北齊時代の俑に見る二大様式の成立とその意義—鄴と晋陽

北齊俑の出土分布／鄴と晋陽の俑の比較／北齊俑の制作技法／二大様式成立の背景と
その意義／表：北齊陶俑出土墓葬一覧／図版

第6章 北齊鄴地区の明器生産とその系譜—陶俑と低火度鉛釉器を中心に

北齊鄴地区の陶俑とその系譜／北齊?地区の低火度鉛釉器とその系譜／図版

第Ⅱ部 隋唐時代の陶俑への新たな視座

第7章 隋俑考—北齊俑の遺風と新たな展開

隋俑に見られる北齊の俑の影響／隋俑の新たな展開／表：隋俑出土墓葬一覧／図版

第8章 白瓷の誕生—北朝の瓷器生産の諸問題と安陽隋張盛墓出土白瓷俑

白瓷誕生に関する諸問題／安陽張盛墓出土の白瓷俑について／図版

第9章 初唐黄釉加彩俑の特質と意義

黄釉加彩俑の出土例／黄釉加彩俑の位置づけ／図版

第10章 唐代邢窯における俑の生産とその流通に関する諸問題

邢窯遺址出土の俑／河北唐墓出土の俑／邢窯初唐俑の流通／表：河北地区出土唐俑一覧
／図版

第11章 西安・唐代醴泉坊窯址の発掘成果とその意義—俑を中心とした考察

醴泉坊窯址について／出土遺物について／出土した俑についての考察／俑の年代について
／俑の制作技法について／図版

第12章 唐時代の俑の制作技法について—陶範成形を中心に

唐時代の陶俑陶範の出土／陶範成形実験の概要とその成果／図版

結 語

あとがき／初出一覧／索引